

消 防 年 報

平成 2 5 年版



旭市消防本部

は し が き

本書は、平成26年4月1日現在の当消防本部及び消防団の現勢ならびに平成25年中の消防業務に関する諸統計と一部過去における諸統計を比較収録し、今後の消防行政の合理的運用をはかるとともに活動状況を紹介することを目的として作成したものであります。

平成26年7月

旭市消防本部

消 防 本 部

消 防 署



目 次

【消防本部】

1.消防本部の沿革	1
2.消防機構（組織）	5
3.消防施設	6
4.面積・人口・世帯数	7
5.基準消防力と現有消防力との比較	7
6.現有消防力に対する面積・人口・世帯数	7
7.予算（当初）決算の推移	7
8.消防本部車両配置状況	8
9.歴代消防長	9
10.消防職員配置状況	10
11.消防職員階級別年齢表	10
12.消防職員勤続年数	10
13.消防研修機関派遣状況	11
14.資格取得状況	12
15.通信指令業務の概要	13
(1)システム系統図	14
(2)消防救急無線装置の概要	15
16.119番受理回数（5年間）	16
17.平成25年気象観測状況	17
18.消防法に定める防火対象物数（地区別）	19
19.地区別中高層建築物数	20
20.地区別危険物施設数	20

21. 地区別消防水利状況	21
22. 年別火災発生状況	22
23. 平成25年地区別火災発生状況	23
24. 年別・原因別火災発生件数	24
25. 年別救急出動件数	25
26. 年別・地区別・救急発生件数	26
27. 平成25年地区別救急発生件数・搬送人員数	27
28. 特別救助隊のあゆみ	28
29. 特別救助隊編成表	29
30. 年別救助状況	29
31. 平成25年救助活動状況	30
32. 平成25年地区別救助出動件数	30
33. 平成25年消防隊出動状況	31

1. 消防本部の沿革

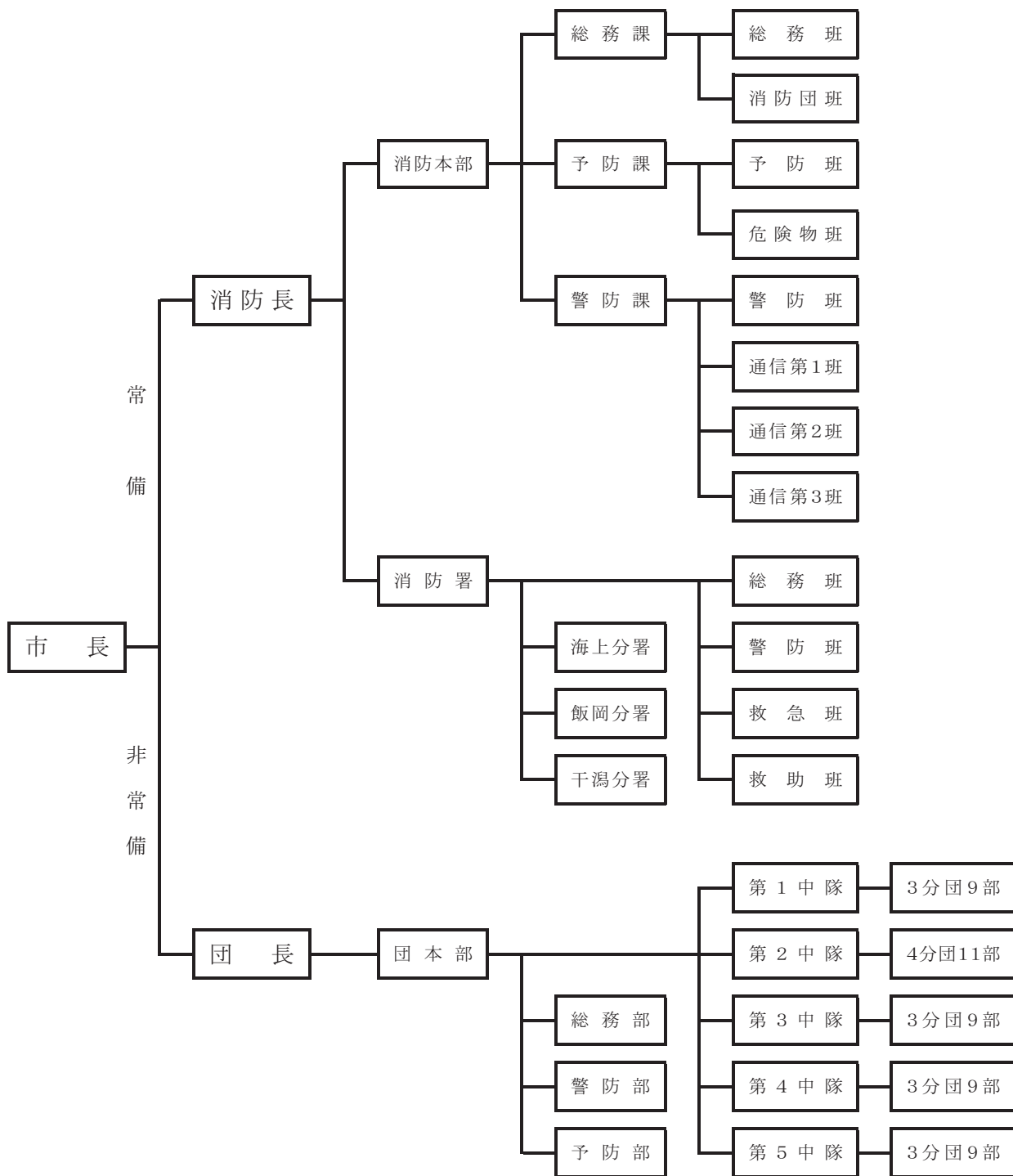
昭42 . 10 . 1	旭市では政令指定に基づき、消防本部、消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭43 . 12 . 29	政令指定に基づき、救急業務を開始する。
昭45 . 4 . 1	一市三町で知事宛消防組合設立許可の申請を行った。
昭45 . 4 . 17	旭市、飯岡町、海上町、干潟町に対し、旭市外三町消防組合設立許可され設立する。 消防職員33名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、化学車1台、救急車1台、広報車1台。
昭45 . 10 . 3	旭市外三町消防組合消防本部消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭46 . 1 . 5	消防職員 40名
昭46 . 4 . 1	消防職員 67名
昭46 . 6 . 1	政令に基づき、自治大臣から、飯岡町、海上町、干潟町が消防本部、消防署を置かなければならないと指定された。
昭46 . 6 . 3	海上分遣所を開設し、消防職員10名、消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭46 . 7 . 4	飯岡分遣所を開設し、消防職員13名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置し、救急業務を開始する。
昭46 . 8 . 1	消防職員 70名
昭46 . 8 . 10	干潟分遣所を開設し、消防職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭47 . 4 . 1	消防職員 76名
昭48 . 4 . 1	消防職員 80名
昭48 . 6 . 30	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け旭消防署へ配置する。
昭49 . 11 . 1	海上分遣所へ救急車を購入し、救急業務を開始する。
昭50 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を82名とする。
昭51 . 4 . 1	消防本部の機構を改め、総務課、予防課、警防課の三課とする。 消防職員 81名
昭51 . 4 . 8	干潟分遣所へ救急車を配置、救急業務を開始する。
昭52 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、海上分遣所へ配置する。
昭53 . 9 . 1	消防職員 82名
昭54 . 11 . 20	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分遣所へ配置する。
昭55 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員92名とする。
昭55 . 10 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し干潟分遣所署へ配置する。
昭55 . 10 . 25	救助工作車を購入し、旭消防署へ配置する。
昭56 . 4 . 1	消防職員87名
昭57 . 3 . 3	消防庁長官表彰旗受章する。
昭57 . 4 . 1	消防署に通信指令室を設置し、室員を配置する。 消防職員92名
昭58 . 2 . 1	消防署に救急指令装置(B型)を配置すると同時に、飯岡町、海上町、干潟町からの119番受信を開始する。
昭58 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課、予防課、警防課、通信指令室の三課一室とする。 消防職員92名
昭58 . 11 . 17	消防庁舎建設用地を取得する。(民有地 1, 037㎡)

昭59 . 2 . 22	消防本部、消防署に千葉県防災行政無線を設置する。
昭59 . 4 . 3	消防庁舎建設用地を取得する。(旭市土地開発公社所有地 3, 527.2㎡)
昭60 . 2 . 27	消防庁舎新築工事起工式を挙げる。
昭60 . 12 . 23	消防庁舎新築工事完了する。
昭61 . 4 . 1	消防職員92名
昭62 . 5 . 1	消防職員91名
昭63 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を95名とする。 消防職員92名
平元 . 4 . 1	消防職員94名
平3 . 1 . 29	海上分遣所仮眠室を増築する。(22.568㎡)
平3 . 3 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を102名とする。
平3 . 3 . 25	はしご付消防自動車(30m級)を購入し、旭消防署へ配置する。
平3 . 4 . 1	消防本部事務部門につき、第2・第4土曜日閉庁を実施する。 消防職員95名
平4 . 3 . 30	救急用無線(救急波)施設を整備する。
平4 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を125名とする。 消防職員98名
平4 . 9 . 1	消防職員99名
平4 . 9 . 3	衛星通信回線(ふるさと千葉情報ネットワーク整備)運用を開始する。
平5 . 4 . 1	完全週休2日制を実施する。 消防職員106名
平6 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課・予防課・警防課・指令課の4課とする。 消防職員116名
平7 . 3 . 16	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、旭消防署へ配置する。
平7 . 4 . 1	救急救命士業務を開始する。 消防職員122名(女性3名採用)
平7 . 10 . 1	消防本部、消防署設置条例を改正し、分遣所の名称を分署とする。
平8 . 2 . 28	消防署救急消毒作業室(木造、平屋、39㎡)を新築する。
平8 . 10 . 1	消防組織法の規定に基づき消防本部に消防職員委員会を置く。
平9 . 2 . 20	旭消防署に、消防訓練塔(高さ21m、一部倉庫)を新築する。
平9 . 3 . 4	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波(1波、5W、150.73MHz)を新規整備する。
平10 . 4 . 1	消防職員119名
平11 . 4 . 1	消防職員118名
平12 . 4 . 1	消防署、3分署、指令課の勤務を3部交代制勤務とする。 消防職員121名
平12 . 8 . 28	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平13 . 3 . 15	消防緊急通信指令施設設計を完了する。
平13 . 4 . 1	消防職員122名
平13 . 12 . 25	発電・変電収納庫(ブロック造、平屋、29.11㎡)を新築する。

平14 . 3 . 27	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波 5W、148.75MHz、154.15MHzを整備する。 消防本部指令課へ、消防緊急通信指令施設 (I型)を整備する。
平14 . 4 . 1	消防職員124名
平15 . 3 . 24	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、海上分署へ配置する。
平15 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を135名とする。 消防職員125名
平16 . 4 . 1	消防職員126名
平17 . 3 . 25	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、干潟分署へ配置する。
平17 . 4 . 1	消防職員129名
平17 . 7 . 1	旭市外三町消防組合を構成する、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、新旭市の誕生により、旭市消防本部・消防署が発足する。 条例定数138名 消防職員128名
平18 . 3 . 22	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、旭消防署へ配置する。
平18 . 3 . 28	携帯電話からの119番通報の直接受信を開始する。
平18 . 4 . 1	消防職員129名
平18 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 2 . 2	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 4 . 1	消防職員129名
平19 . 10 . 19	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、干潟分署へ配置する。
平20 . 1 . 25	救助工作車(Ⅱ型)・救助用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平20 . 4 . 1	消防職員128名
平20 . 8 . 22	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平21 . 3 . 23	携帯・IP電話位置情報システム(簡易型)整備する。
平21 . 4 . 1	消防職員130名
平21 . 12 . 24	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 2 . 26	指揮車(救命ボートトレーラー付)を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 4 . 1	消防職員129名
平22 . 5 . 13	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平23 . 2 . 21	消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平23 . 3 . 11	東日本大震災により飯岡分署、消防署水槽付消防ポンプ自動車が被災する。
平23 . 4 . 1	消防職員128名 消防本部の機構を改編により総務課・予防課・警防課の3課とする。
平23 . 6 . 1	海上分署を海上支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 3 . 22	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平24 . 4 . 1	消防職員126名 飯岡分署を飯岡支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 8 . 22	連絡車を購入し、消防本部へ配置する。

平25 . 3 . 7	ちば消防共同指令センターへ119番回線の切替を実施する。
平25 . 4 . 1	消防職員124名 ちば消防共同指令センターで共同運用を開始する。 消防救急デジタル無線を整備し運用を開始する。
平25 . 6 . 27	広報車を購入し、消防本部へ配置する。
平25 . 8 . 20	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平26 . 3 . 28	干潟分署の耐震補強工事を実施する。
平26 . 4 . 1	消防職員126名

2. 消防機構(組織)



3. 消防施設

消防庁舎等

平成26年4月1日 現在

区分	所在地	敷地面積 (㎡)	用途	構造	延床面積 (㎡)	建築年月日
消防本部・消防署	旭市イの 2953番地1	4,564.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,235.70	昭和60年12月23日
			車庫(北)	鉄骨造 平屋建	387.91	〃
			車庫(南)	鉄骨造 平屋建	138.08	〃
			浄化槽 機械室	鉄筋コンクリート 平屋建	9.05	〃
			救急消毒室	木造 平屋建	39.74	平成8年2月28日
			訓練塔	鉄骨造(高さ21m) 一部倉庫	90.00	平成9年2月20日
			発電・変電 収納庫	コンクリートブロック造 平屋建	29.11	平成13年12月25日
海上分署	旭市高生 1番地	9,467.39	支所庁舎	鉄骨コンクリート造 3階建	113.90 (2,879.50)	平成23年6月1日 改築 (昭和59年8月)
飯岡分署	旭市萩園 1800番地	10,576.42	支所庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	125 (2,295.91)	平成24年4月1日 改築 (昭和49年1月)
干潟分署	旭市南堀之内 17番地	1,010.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	354.73	昭和46年8月10日

4. 面積・人口・世帯数

区 分	面 積 (km ²)	国 勢 調 査 (H22.10.1)		人 口 (平 成 26 年 4 月 1 日)			世 帯 数
		人 口	世 帯 数	男	女	合 計	
旭 市	129.91	69,058	23,157	33,419	34,822	68,241	25,014

5. 基準消防力と現有消防力との比較

平成26年4月1日 現在

種 別 \ 区 分		基 準 数	現 有 数	不 足 数
消 防 本 部 ・ 署	消 防 署 所 の 数	4	4	
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	8 台	(予備車を含む) 9 台	
	化 学 車	1 台	1 台	
	梯 子 車	1 台	1 台	
	救 助 工 作 車	1 台	1 台	
	特 殊 車 等 (調 査 車 ・ 支 援 車 等)	4 台	3 台	1 台
	救 急 車	4 台	(予備車を含む) 5 台	
消 防 団	消 防 職 員	147 人	126 人	21 人
	市 街 地 (台 数 ・ 口 数)	4 台 7 (口)	5 台 9 (口)	
	準 市 街 地 (口 数)	51 (口)	51 (口)	
	そ の 他 の 地 域 (口 数)	8	8 (口)	

6. 現有消防力に対する面積・人口・世帯数

平成26年4月1日 現在

組 織 \ 区 分	消 防 力	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数
消 防 本 部	1 署 々 当 た り	32.48	17,060	6,254
	ポ ン プ 1 台 あ た り	16.24	8,409	3,022
	消 防 職 員 1 人 あ た り	1.03	542	199
消 防 団	ポ ン プ 1 台 あ た り	2.61	1,393	510
	消 防 団 員 1 人 あ た り	0.14	76	28

7. 予算(当初)決算の推移

単位:千円

年 度 \ 区 分	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度	平 成 23 年 度	平 成 24 年 度	平 成 25 年 度
当 初 予 算 額	25,550,000 (1,802,483)	26,910,000 (1,082,535)	26,850,000 (1,252,908)	26,520,000 (1,379,056)	26,880,000 (1,289,068)
歳 出 決 算 額	27,248,407 (1,718,538)	26,565,651 (1,089,790)	31,146,607 (1,156,766)	29,074,576 (1,444,547)	

()内は消防費

8. 消防本部車両配置状況

区分 配置先	呼称	車種	シャシー メーカー	年式	無線	ポンプ 級別	ポンプ等メーカー
消防本部	旭本部司令1	指令車	ニッサン	平成11年	有		
	旭本部広報1	調査広報車	ニッサン	平成25年	有		
	旭本部予防1	調査広報車	トヨタ	平成17年	有		
	旭本部調査1	調査広報車	ニッサン	平成12年	有		
	旭本部連絡1	連絡車	ニッサン	平成24年	有		
	小型連絡車	三菱	平成14年	無			
消防署 (本署)	旭指揮1	指揮車	ホンダ	平成22年	有		
	旭水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成24年	有	A2級	モリタ
	旭ポンプ1	普通ポンプ車	いすゞ	平成16年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭ポンプ2	普通ポンプ車	いすゞ	平成9年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭化学1	化学車	日野	平成5年	有	A2級	モリタ
	旭救助1	救助工作車	日野	平成20年	有		モリタ
	旭梯子1	梯子車	ニッサン ディーゼル	平成3年	有		モリタ
	旭救急1	高規格救急車	トヨタ	平成22年	有		エイバン商事(資機材)
	旭救急2	高規格救急車	ニッサン	平成15年	有		フクダ電子(資機材)
	旭資機材1	搬送車	ニッサン	平成12年	有		
	旭資機材2	支援車	トヨタ	平成15年	有		
	小型連絡車	ニッサン	平成23年	無			
海上分署	旭海上水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成16年	有	A2級	日本造機
	旭海上ポンプ1	普通ポンプ車	三菱	平成8年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭海上救急1	高規格救急車	トヨタ	平成19年	有		フクダ電子(資機材)
	小型連絡車	三菱	平成14年	無			
飯岡分署	旭飯岡水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成18年	有	A2級	日本造機
	旭飯岡ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成23年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭飯岡救急1	高規格救急車	トヨタ	平成18年	有		フクダ電子(資機材)
	小型連絡車	スズキ	平成15年	無			
干潟分署	干潟水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成19年	有	A2級	GMいちほら工業
	干潟ポンプ1	普通ポンプ車	いすゞ	平成9年	有	A2級	GMいちほら工業
	干潟救急1	高規格救急車	トヨタ	平成17年	有		フクダ電子(資機材)
	小型連絡車	三菱	平成16年	無			

9. 歴代消防長

昭和42年10月1日 旧旭市消防本部を設立

歴代	消防長名		摘要
初代	平川 清	自 昭和 42年 10月 1日 至 昭和 45年 3月 31日	旭市助役兼任
2代	伊藤 政秋	自 昭和 45年 4月 1日 至 昭和 45年 4月 16日	旭市長兼任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町で旭市外三町消防組合を設立			
初代	伊藤 政秋	自 昭和 45年 4月 17日 至 昭和 46年 5月 31日	組合長兼任
2代	鶴岡 良介	自 昭和 46年 6月 1日 至 昭和 50年 5月 31日	専任
3代	大木 利一	自 昭和 50年 6月 1日 至 昭和 53年 4月 30日	専任
4代	林 俊二	自 昭和 53年 5月 1日 至 昭和 57年 6月 30日	専任
5代	関口 清	自 昭和 57年 7月 1日 至 昭和 59年 3月 31日	専任
6代	飯田 省三	自 昭和 59年 4月 1日 至 昭和 61年 3月 31日	専任
7代	下妻 文男	自 昭和 61年 4月 1日 至 平成 元年 3月 30日	専任
8代	仲條 栄樹	自 平成 元年 4月 1日 至 平成 4年 3月 31日	専任
9代	矢指 本静幸	自 平成 4年 4月 1日 至 平成 8年 3月 31日	専任
10代	飯田 繁	自 平成 8年 4月 1日 至 平成 11年 3月 31日	専任
11代	石毛利 夫	自 平成 11年 4月 1日 至 平成 13年 12月 31日	専任
12代	椎名 秋雄	自 平成 14年 1月 1日 至 平成 16年 3月 30日	専任
13代	佐久間 正	自 平成 16年 4月 1日 至 平成 17年 3月 31日	専任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市消防本部を設立			
初代	佐藤 眞一	自 平成 17年 7月 1日 至 平成 20年 3月 31日	専任
2代	菅谷 衛一	自 平成 20年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日	専任
3代	佐藤 清和	自 平成 22年 4月 1日	専任

10. 消防職員配置状況

平成26年4月1日 現在

階級別 区分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員 事務員	計
消防本部	消防長	1								1
	総務課		1	1	6				4 (2)	12 (2)
	予防課		1	1	3					5
	警防課		1	2	5 (3)		1			9 (3)
	小計	1	3	4	14 (3)		1		4 (2)	27 (5)
消防署	署長		1							1
	副署長		1	2						3
	旭消防署			3	9	10	12	7		41
	海上分署			1	8	3	5	1		18
	飯岡分署			1	6	5	4	2		18
	干潟分署				8	1	6	3		18
	小計		2	7	31	19	27	13		99
合計	1	5	11	45 (3)	19	28	13	4 (2)	126 (5)	

()内は女子数

11. 消防職員階級別年齢表

平成26年4月1日 現在

階級別 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員 事務員	計
18歳～20歳							4		4
21歳～25歳						9	9		18
26歳～30歳					7	19		1	27
31歳～35歳				6	12				18
36歳～40歳				25 (3)					25 (3)
41歳～45歳				14					14
46歳～50歳			4					2 (1)	6 (1)
51歳～55歳		2	6						8
56歳以上	1	3	1					1 (1)	6 (1)
合計	1	5	11	45 (3)	19	28	13	4 (2)	126 (5)

()内は女子数

12. 消防職員勤続年数

平成26年4月1日 現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
17	31	20	12 (4)	22	5	13	6 (1)	126 (5)

事務吏員含む ()内は女子数

13. 消防研修機関派遣状況

区 分		年 度						合 計
		昭 和 38 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度	平 成 23 年 度	平 成 24 年 度	
消 防 大 学 校	上級幹部科	2						2
	幹部研修科	9						9
	警防科	8		1				9
	予防科	2			1			3
	救急科	2						2
	救助科	9					1	10
	火災調査講習会	2						2
	新任教官科	1						1
千 葉 県 消 防 学 校	初任科	183	6	4	2	4	4	203
	初級幹部科	32						32
	中級幹部科	21						21
	幹部特別研修科	6						6
	予防課程	1						1
	警防課程	10						10
	特殊災害科		1	1	1	1	1	5
	救助課程	35		1	1	1	1	39
	水難救助課程	9						9
	無線通信課程	14						14
	査察課程	1		1			1	3
	火災調査課程	6	1		1		1	9
	危険物課程					1		1
	救急Ⅰ課程	74						74
	救急Ⅱ課程	32						32
	救急課程	68	4	6	8	5	4	95
	訓練指導科	65	1	1		1	1	69
	管理職科	1						1
	機械科	4						4
	はしご自動車講習	31	1	1	1	1	1	36
薬剤投与・気管挿管講習	4						4	
薬剤投与講習	1	2					3	
救急救命士研修所	13	1	1	1	1	1	18	
薬剤投与講習(研修所)	5	1					6	
安全運転研修所		1	2	2	2	2	9	
合 計		651	19	19	18	17	18	742

14. 資格取得状況

平成26年4月1日 現在

階 級 資格等の名称		消	消	消	消	消	消	合
		防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士	計
車 輛 船 舶 関 係	大型自動車運転免許	4	9	34	19	27	2	95
	中型自動車運転免許			1				1
	大型特殊自動車運転免許			1	2			3
	けん引自動車免許			1	3			4
	小型船舶操縦免許	1		6	6	1		14
労 基 関 係	衛生管理者	2		2				4
	潜水士	2	2	14	10	13	3	44
	特定化学物質等作業主任者	1	1	7				9
	小型移動式クレーン	1	4	17	5	4		31
	玉掛け技能講習	2	4	16	5	3		30
	ガス溶接技能講習	3	3	10	7	3	1	27
	酸素欠乏危険作業主任者		3	10	6	3		22
消 防 関 係	救急救命士	2	2	12	4	3	1	24
	救急(Ⅱ)	2	10	4				16
	救急(標準)	2	1	38	18	22		81
	予防技術資格者		1	3				4
	危険物取扱者(乙種)	1		12	18	25	3	59
	危険物取扱者(丙種)			6				6
	第2級陸上特殊無線技士	3	10	2	5			20
	第3級陸上特殊無線技士			36	19	26	5	86
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習			6	2			8

15. 通信指令業務の概要

平成25年4月1日より、千葉県北東部・南部ブロックの20消防本部で構築した「ちば消防共同指令センター」の運用が本格的に開始され、当消防本部で行っていた通信指令業務を千葉市消防局内に設置された「ちば消防共同指令センター」へ完全に移行しました。

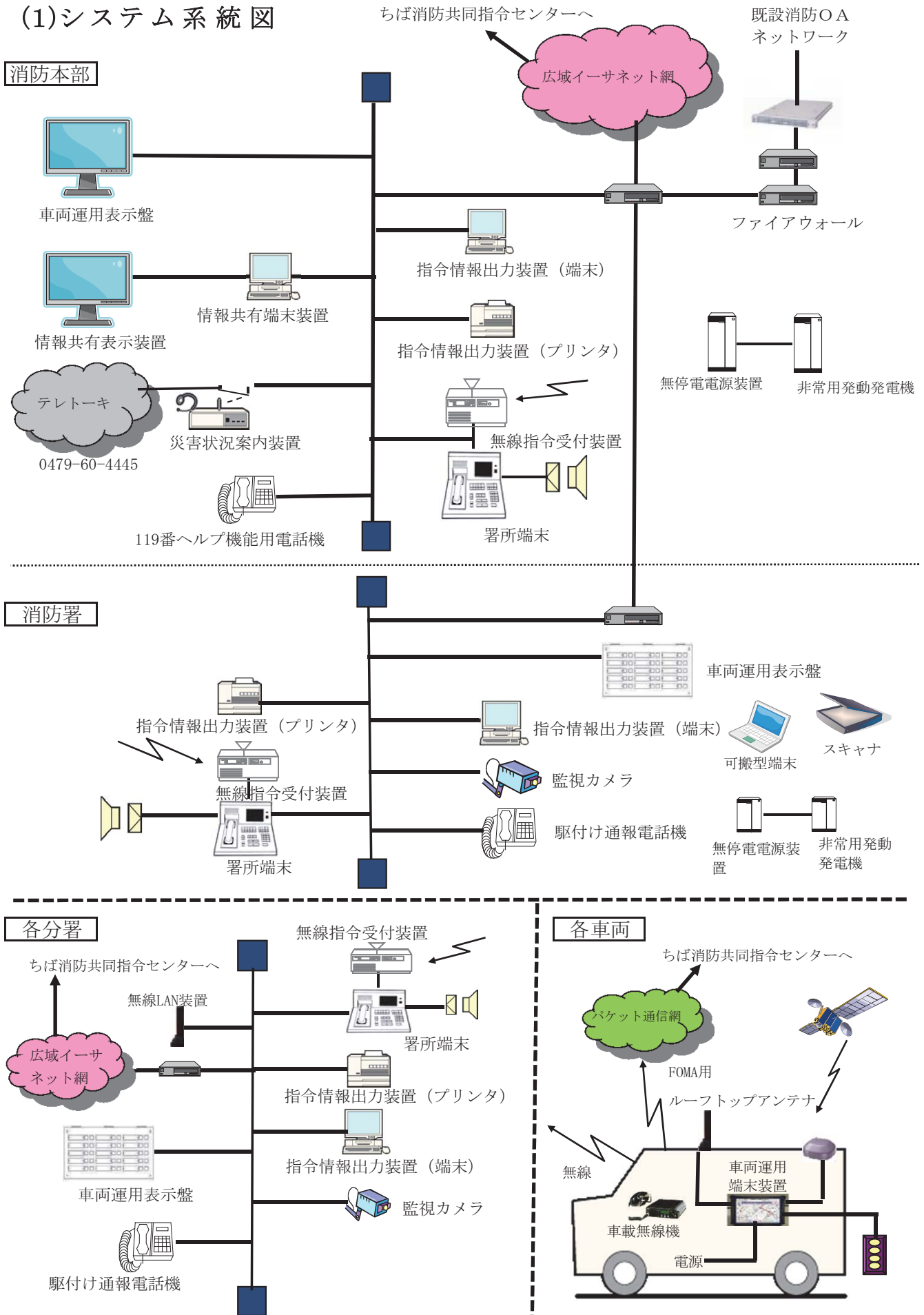
共同運用を行うことで、業務の効率化が図れるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制が充実強化されています。

また、通信指令業務に従事する職員として当消防本部から平成26年4月1日現在、2名の職員が出向しています。



(ちば消防共同指令センター)

(1)システム系統図



(2) 消防救急無線装置の概要

1 アナログ無線

(平成26年4月1日)

無線局の種別	区 分		送信出力	識別信号	局 数
基地局 (消防本部警防課通信室)	消防波	市町村波	5W	しょうぼう あさひ	1
		県内共通波			
		全国共通波			
	救急波	市町村波	10W		

所属別		出力	総務課	予防課	警防課	旭消防署	海上分署	飯岡分署	干潟分署	計	
			局 数								
区分											
陸上移動局	車載	消防波	10W	2	2	1	10	3	3	3	24
		救急波				2	1	1	1	5	
	携帯	消防波	5W				8	3	4	2	17
			1W				3	1		2	6
	可搬	消防波	10W			1					1

2 デジタル無線

無線局の種別	区 分		識別信号	局 数
遠隔制御器 (消防本部警防課通信室)	活動波	消防波	えんせい あさひ しょうぼう	1
		救急波		
	主運用波	主運用波2		
	統制波	統制波1		
		統制波2		
		統制波3		
近隣消防本部 活動波				

所属別		出力	総務課	予防課	警防課	旭消防署	海上分署	飯岡分署	干潟分署	計
			局 数							
区分										
陸上移動局	車載型移動局無線装置	5W	2	2	1	11	3	3	3	25
	携帯型移動局無線装置	5W		1	1	14	5	5	5	31
	卓上型移動局無線装置	5W			2					2
	可搬型移動局無線装置	5W			1	1				2

16. 119番受理回数(5年間)

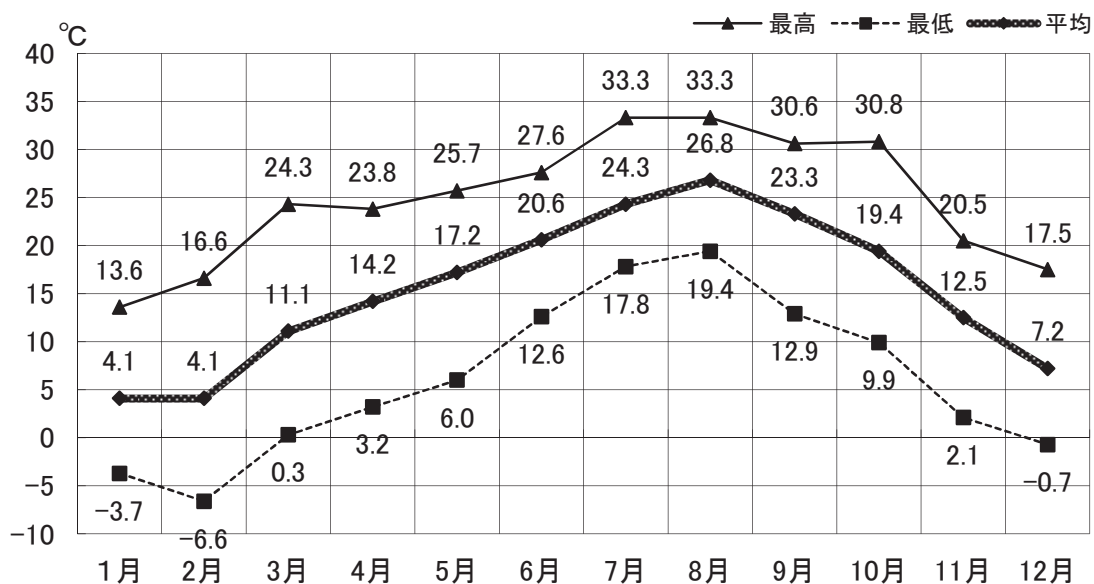
年別 種別	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	合計(回)
火災	56 (35)	85 (44)	80 (40)	66 (36)	57 (30)	344 (185)
火災問合せ	11 (0)	20 (5)	10 (8)	13 (5)	12 (0)	66 (18)
救急	1,924 (459)	2,550 (506)	2,283 (727)	2,170 (694)	2,356 (712)	11,283 (3,098)
災害	4 (1)	0 (0)	36 (13)	2 (2)	205 (63)	247 (79)
偵察	12 (0)	19 (9)	26 (13)	13 (9)	4 (3)	74 (34)
誤報	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 0
間違い	88 (0)	96 (33)	108 (38)	127 (53)	161 (65)	580 (189)
いたづら	51 (0)	21 (5)	8 (3)	39 (30)	15 (7)	134 (45)
通報訓練	113 (0)	132 (12)	155 (13)	129 (13)	26 (6)	555 (44)
試験	256 (0)	186 (22)	111 (25)	78 (19)	109 (0)	740 (66)
その他	305 (251)	418 (188)	511 (202)	501 (277)	236 (119)	1,971 (1,037)
医療照会	27 (0)	42 (30)	32 (20)	41 (33)	30 (0)	172 (83)
合計 (回)	2,849 (746)	3,570 (854)	3,361 (1,102)	3,179 (1,171)	3,181 (996)	16,170 (4,878)

※ ()内は携帯119番の受理回数

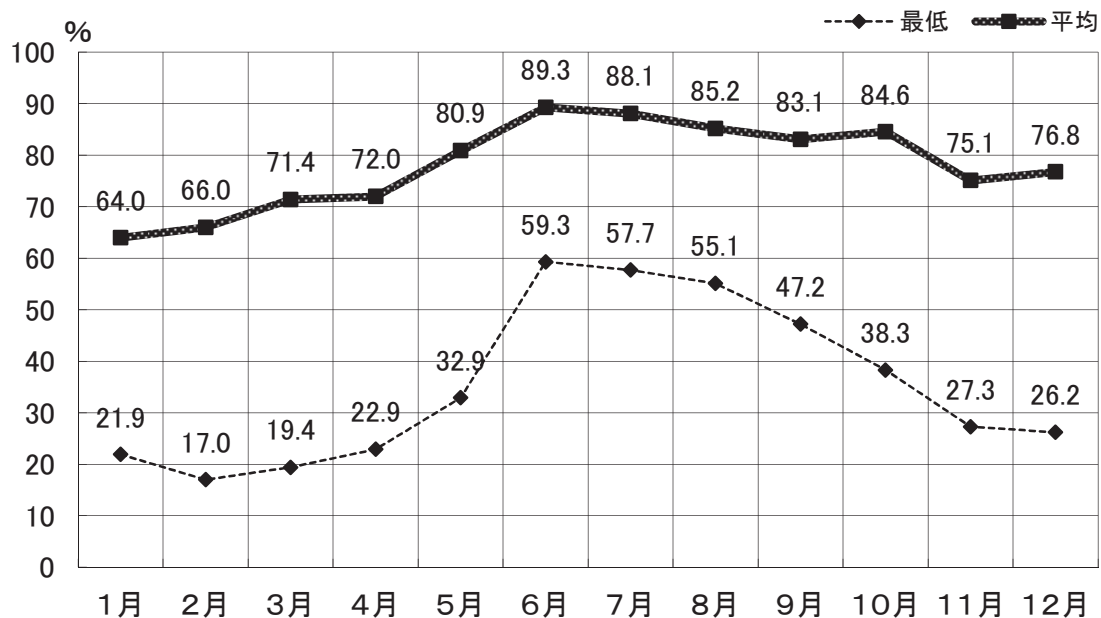
※ 平成25年は「ちば消防共同指令センター」での受理件数を含む

17. 平成25年気象観測状況

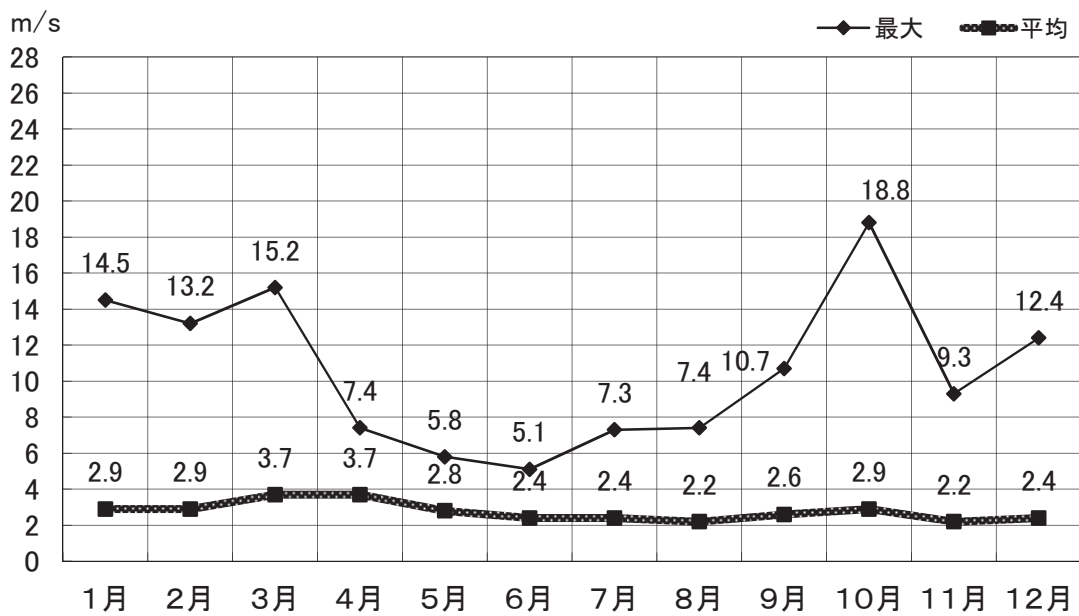
(1) 最高・最低・平均気温



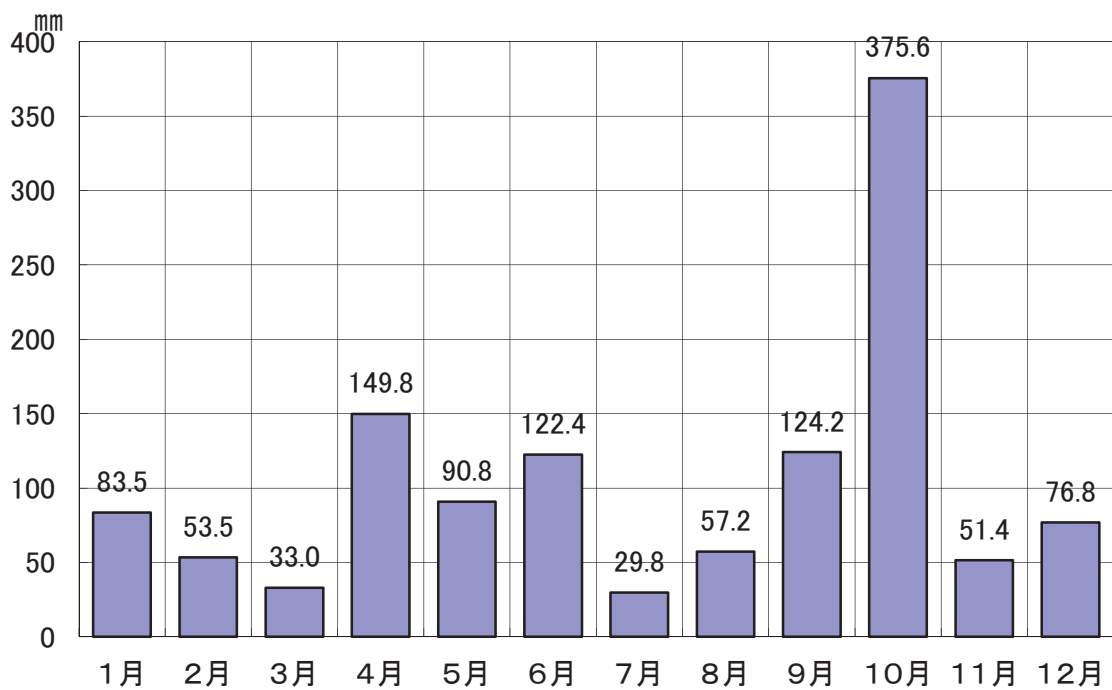
(2) 最低・平均湿度



(3) 最大・平均風速



(4) 降雨量



18. 消防法に定める防火対象物数(地区別)

(消防用設備を必要とする対象物)

平成26年4月1日 現在

用途(防火対象物) \ 地区別	旭地区	海上地区	飯岡地区	干潟地区	合計
劇場、映画館、観覧場	2	1		1	4
公会堂、集会場	14	4	5	8	31
キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					0
遊技場、ダンスホール	6	1			7
カラオケボックス、インターネットカフェ	1				1
待合、料理店の類					0
飲食店	71	8	12	14	105
百貨店、マーケット、物品販売業店舗	109	9	10	7	135
旅館、ホテル、宿泊所	28	1	17	1	47
寄宿舎、下宿、共同住宅	261	46	29	8	344
病院、診療所、助産所	36	3	1		40
老人ホーム、救護、障害者支援施設	13	3	3	3	22
デイサービスセンター、福祉施設、保育所	35	16	7	5	63
幼稚園、特別支援学校	5	1	1		7
小学校、中学校、高等学校、各種学校	62	10	11	8	91
図書館、博物館、美術館	1	1	1	1	4
蒸気浴場、熱気浴場					0
公衆浴場	2				2
車輛の停車場、船舶又は航空機の発着場	1				1
神社、寺院、教会の類	10	2	1		13
工場、作業場	261	28	58	36	383
自動車車庫、駐車場	22	3	2	3	30
倉庫	215	28	30	25	298
銀行、官公署等の事務所	183	68	55	42	348
複合用途(特定防火対象物)	189	12	23	6	230
上記以外の複合用途	30	5	4	3	42
重要文化財等				2	2
合 計	1,557	250	270	173	2,250

19. 地区別中高層建築物数

平成26年4月1日 現在

階数	地区別	旭地区	海上地区	飯岡地区	干潟地区	合計
	3階		137	16	26	14
4階		30	3	5	3	41
5階		9	1	4		14
6階		11				11
7階		1		1		2
8階		1				1
9階		1				1
10階		1				1
12階		1				1
合計		192	20	36	17	265

20. 地区別危険物施設数

平成26年4月1日 現在

製造所等 地区別	製造所	貯蔵所						取扱所				合計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所
旭地区	4	11	32	4	40		26	45	37	3		31	233
海上地区	2	3	14		8		10	3	10			6	56
飯岡地区		2	6		7			2	8			6	31
干潟地区	1	7	21		3		7	1	9			12	61
合計	7	23	73	4	58	0	43	51	64	3	0	55	381

21. 地区別消防水利状況

平成26年4月1日 現在

区分 地区別	防 火 水 槽					消 火 栓	池	河 川	プ ー ル	合 計
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	60m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	小 計					
旭地区	61	196 (44)	17	7 (4)	281 (48)	1,057	4	12	10	1,364 (48)
海上地区	10	83 (12)	4	5 (4)	102 (16)	194	3	6	3	308 (16)
飯岡地区	12	53 (12)	5	4	74 (12)	187	1	1	4	267 (12)
干潟地区	23	27 (7)	13	1 (1)	64 (8)	181			2	247 (8)
合 計	106	359 (75)	39	17 (9)	521 (84)	1,619	8	19	19	2,186 (84)

※ ()内は耐震性

22. 年別火災発生状況

区 分		年 別					
		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	
火 災 件 数		31	31	30	30	27	
損 害 額 (千円)		109,677	95,880	118,869	88,560	42,768	
建 物 火 災	件 数	17	12	14	18	11	
	焼 損 棟 数	全 焼	8	6	5	9	5
		半 焼	2	2	4	0	2
		部分焼	6	6	3	10	5
		ぼ や	8	1	2	6	2
		合 計	24	15	14	25	14
	焼損面積 (m ²)	1,046	911	1,018	14,886.6	892	
	焼表面積 (m ²)	5	10	0	15	102	
	損 害 額 (千円)	108,634	92,017	116,312	65,119	40,269	
林 野 火 災	件 数	0	3	1		1	
	焼損面積 (a)	0	21.85	20		22	
	損 害 額 (千円)	0	16	0		50	
車 両 火 災	件 数	3	3	4	4	2	
	焼損台数 (台)	3	3	5	4	3	
	損 害 額 (千円)	968	445	2,000	530	1,516	
船 舶 火 災	件 数	0	1	0	0	0	
	焼損隻数 (隻)	0	1	0	0	0	
	損 害 額 (千円)	0	3,250	0	0	0	
そ の 他	件 数	11	12	11	8	13	
	損 害 額 (千円)	75	152	557	22,911	933	
死 者		0	0	1	4	2	
負 傷 者		2	0	3	4	2	

23. 平成25年地区別火災発生状況

区 分		地 区 別				合 計	
		旭地区	海上地区	飯岡地区	干潟地区		
火 災 件 数		14	6	5	2	27	
損 害 額 (千円)		23,694	16,684	2,290	100	42,768	
建 物 火 災	件 数	7	3	1		11	
	焼損面積 (m ²)	744	148			892	
	焼表面積 (m ²)	63	9	30		102	
	損 害 額 (千円)	22,899	16,683	687		40,269	
	焼 損 棟 数	全 焼	4	1			5
		半 焼	2				2
		部 分 焼	3	1	1		5
		ぼ や	1	1			2
		合 計	10	3	1		14
		罹災世帯 (帯)	4	1			5
	罹災人員 (人)	12	4			16	
林 野 火 災	件 数				1	1	
	焼損面積 (a)				22	22	
	損 害 額 (千円)				50	50	
車 両 火 災	件 数	1		1		2	
	焼損台数 (台)	1		2		3	
	損 害 額 (千円)	6		1,510		1,516	
船 舶 火 災	件 数						
	焼損隻数 (隻)						
	損 害 額 (千円)						
そ の 他	件 数	6	3	3	1	13	
	損 害 額 (千円)	789	1	93	50	933	
死 者		1	1			2	
負 傷 者		1	1			2	

24. 年別・原因別火災発生件数

原因別		年 別		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	合計	
		年	別							
一 般 火 災	たき火								0	
	たばこ			2	1	1		2	6	
	こんろ	まき								0
		ガス			2	2		2		6
	かまど	電気								0
		まき								0
	風呂釜	ガス								0
		石油								0
	マッ	チ							0	
	ライター				1					1
	取火・残火の不始末					3	1			4
	灯	火						1		1
	線香・蚊取線香								1	1
	こたつ	炭・練炭								0
		電気								0
	煙	突						1		1
	天ぷら	鍋			2					2
	焼却	炉								0
	花	火								0
電 気 関 係	電	球							0	
	電気配線	等			2	4		2	8	
	電線	スパーク			1				1	
	モーター								0	
	配電	盤							0	
	変圧	器							0	
	電気	毛布							0	
	保温	器							0	
	電気	ストーブ							0	
電気	カーペット							0		
石 油 ・ ガ ス	ボイラー								0	
	乾燥	機							0	
	溶接	火花				1		1	2	
	石油	ストーブ			1		1		3	
	ガス	ストーブ							0	
溶断	器							0		
車 両	交通	事故							0	
	燃料	漏れ							0	
	エンジン	に接触							0	
	排気	管			1		1		2	
	配線	ショート					1		1	
故 意	放火・放火の疑い			5	4	3	1	4	17	
	火遊び				1				1	
そ の 他	取	灰					1		1	
	火入れの火粉・枯草	焼			1	2	1	2	6	
	虫	焼き火		1					1	
	溶接・切断機	の火花							0	
	その	他		5	6	9	4	4	28	
高温物の	接触		1	1	0			2		
不明・調査中			7	7	12	15	13	54		
合	計		31	31	30	30	27	149		

25. 年別救急出動件数

年別	種別 出動件数 搬送件数 不搬送件数 搬送人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
												転院搬送	医師搬送	その他の	
平成21年	出動件数	15		9	366	27	18	316	14	41	1,718	114		16	2,654
	搬送件数	3		5	343	26	18	302	11	29	1,627	112		2	2,478
	不搬送件数	12		4	23	1		14	3	12	91	2		14	176
	搬送人員	3		6	466	26	18	303	12	29	1,630	112		2	2,607
平成22年	出動件数	15		6	371	25	14	317	20	38	1,766	131	4	17	2,724
	搬送件数			5	352	24	14	304	18	22	1,661	130		4	2,534
	不搬送件数	15		1	19	1		13	2	16	105	1	4	13	190
	搬送人員			5	460	24	14	307	18	22	1,663	130		4	2,647
平成23年	出動件数	17	22	4	414	32	17	340	18	30	1,920	119	3	28	2,964
	搬送件数	1	11	1	392	31	17	331	15	17	1,820	116		8	2,760
	不搬送件数	16	11	3	22	1		9	3	13	100	3	3	20	204
	搬送人員	3	13	1	498	31	17	333	15	17	1,823	116		8	2,875
平成24年	出動件数	17		5	356	25	22	330	20	28	1,914	89	1	11	2,818
	搬送件数	4		1	329	24	21	319	13	20	1,829	87		2	2,649
	不搬送件数	13		4	27	1	1	11	7	8	85	2	1	9	169
	搬送人員	4		1	441	24	23	319	13	21	1,833	87		2	2,768
平成25年	出動件数	27	1	3	357	25	10	318	15	27	1,937	78	1	20	2,819
	搬送件数	4		1	329	24	10	303	12	18	1,828	76			2,605
	不搬送件数	23	1	2	28	1		15	3	9	109	2	1	20	214
	搬送人員	5		1	411	24	10	304	13	18	1,829	76			2,691
5年間	合計	91	23	27	1,864	134	81	1,621	87	164	9,255	531	9	92	13,979

26. 年別・地区別・救急発生件数

年 別 地 区 別		平	平	平	平	平	5 年 間		
		成 21 年	成 22 年	成 23 年	成 24 年	成 25 年	地 区 別 小 計	地 区 別 合 計	地 区 別 比 率 (%)
旭 地 区	中 央	644	729	786	693	676	3,528	8,386	60.0
	矢 指	169	202	195	161	214	941		
	富 浦	194	169	189	192	181	925		
	干 潟	151	164	190	165	191	861		
	豊 畑	144	137	136	137	138	692		
	共 和	160	133	158	165	201	817		
	嚶 鳴	121	117	123	137	124	622		
海 上 地 区	嚶 鳴	154	150	188	220	163	875	1,866	13.3
	滝 郷	84	80	71	79	73	387		
	鶴 巻	123	121	125	130	105	604		
飯 岡 地 区	飯 岡	242	269	275	218	205	1,209	2,256	16.1
	三 川	184	180	214	159	189	926		
	埴	20	27	16	32	26	121		
干 潟 地 区	萬 歳	52	44	67	76	73	312	1,420	10.2
	中 和	100	82	103	106	111	502		
	古 城	105	109	124	139	129	606		
管 外		7	11	4	9	20	51		0.4
合 計		2,654	2,724	2,964	2,818	2,819	13,979		100.0

27. 平成25年地区別救急発生件数・搬送人員数

地区別	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			地区別小計	地区別合計
												転院搬送	医師搬送	その他		
旭地区	中央	4	0	0	86	3	2	74	4	5	424	67	1	6	676	1,725
					99	3	2	68	3	4	399	65			643	
	矢指	2	0	0	32	2	0	28	2	4	140	3	0	1	214	
		1			39	2		28	1	2	127	3			203	
	富浦	4	0	1	25	0	0	22	2	2	123	2	0	0	181	
		1			30			21	2	1	117	2			174	
	干潟	2	0	0	24	3	4	23	3	2	128	1	0	1	191	
					24	3	4	23	2	1	123	1			181	
	豊畑	2	0	0	14	2	0	14	0	2	104	0	0	0	138	
					15	1		14		2	96				128	
	共和	1	0	0	33	2	0	21	1	2	136	1	0	4	201	
					37	2		20	1	1	126	1			188	
	嚶鳴	0	0	0	15	0	0	9	1	0	97	1	0	1	124	
					23			9	2		93	1			128	
海上地区	嚶鳴	1	0	0	16	2	0	22	0	3	119	0	0	0	163	
		2			17	2		21		2	111				155	
	滝郷	1	0	0	14	2	0	8	0	1	46	1	0	0	73	
					15	2		8			46	1			72	
	鶴巻	2	0	0	14	4	0	20	1	1	61	1	0	1	105	
		1			15	4		20	1	1	60	1			103	
飯岡地区	飯岡	3	0	2	21	2	0	26	0	2	146	0	0	3	205	
				1	24	2		27		2	139				195	
	三川	1	0	0	16	2	1	21	1	1	143	0	0	3	189	
					21	2	1	19	1	1	135				180	
	埜	2	0	0	5	0	0	0	0	0	19	0	0	0	26	
				5						19				24		
干潟地区	萬歳	1	0	0	4	0	0	6	0	0	62	0	0	0	73	
					4			6			59				69	
	中和	1	0	0	19	0	3	13	0	1	74	0	0	0	111	
					20		3	11			69				103	
	古城	0	1	0	18	0	0	9	0	0	101	0	0	0	129	
				22			8			98				128		
管外	0	0	0	1	1	0	2	0	1	14	1	0	0	20		
				1	1		1		1	12	1			17		
合計	27	1	3	357	25	10	318	15	27	1,937	78	1	20	2,819		
	5	0	1	411	24	10	304	13	18	1,829	76		0	2,691		

(注) 上段は発生件数、下段は搬送人員数

28. 特別救助隊のあゆみ

年	月	日	摘	要
昭和	49	10 . 2 11 . 1	救助隊発足の基礎として消防学校救助科入校 隊長以下7名にて特別救助隊発足	2名
昭和	50	10 . 1	救助隊7名増員し隊長以下14名となる。	
平成	20	4 . 1 6 . 25 8 . 1 10 . 1	隊員の人事異動を行う。 第33回消防救助千葉県大会出場 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ほふく救出 隊員の人事異動を行う。 隊員の人事異動を行う。	隊長以下24名 3位、5位入賞 2位、6位入賞 3位入賞 隊長以下23名 隊長以下24名
平成	21	4 . 1 7 . 23 11 . 9	隊員の人事異動を行う。 第38回消防救助技術関東地区指導会出場 障害突破 千葉県消防学校特殊災害科入校	隊長以下24名 1名
平成	22	4 . 1 6 . 29 8 . 27 9 . 28 10 . 1 11 . 9	隊員の人事異動を行う。 第34回消防救助技術千葉県大会 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ほふく救出 第39回全国消防救助技術大会 ほふく救出 千葉県消防学校救助科入校 隊員の人事異動を行う。 千葉県消防学校特殊災害科入校	隊長以下25名 2位、4位入賞 2位入賞 1位入賞 9位入賞 1名 隊長以下25名 1名
平成	23	4 . 1 9 . 28 11 . 8	隊員数 千葉県消防学校救助科入校 千葉県消防学校特殊災害科入校	隊長以下25名 1名 1名
平成	24	4 . 1 5 . 31 8 . 7 9 . 25 11 . 9	隊員の人事異動を行う。 第37回千葉県消防救助技術大会 ほふく救出 ロープブリッジ渡過 第41回全国消防救助技術大会 ロープブリッジ渡過 千葉県消防学校救助科入校 千葉県消防学校特殊災害科入校	隊長以下21名 2位入賞 1位、6位入賞 14位入賞 1名 1名
平成	25	4 . 1 6 . 11 8 . 22 8 . 26 9 . 17 11 . 16	隊員の人事異動を行う。 第38回千葉県消防救助技術大会 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 はしご登はん 第42回全国消防救助技術大会 ロープ応用登はん 消防大学救助科入校 千葉県消防学校救助科入校 千葉県消防学校特殊災害科入校	隊長以下23名 1位入賞 2位入賞 4位入賞 6位入賞 1名 1名 1名
平成	26	4 . 1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下23名

29. 特別救助隊編成表

平成26年4月1日 現在

階級 隊員	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
隊長	1				1
副隊長	2				2
隊員		5	8	7	20
合計	3	5	8	7	23

30. 年別救助出動状況

種別 区分	平成21年			平成22年			平成23年			平成24年			平成25年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
交通事故	29	2	56	20	2	38	17	1	22	13	3	19	27		40
水難	3	1	1	2	1	1	2	1		3		1	3		1
建物等による事故										1		1	2		1
機械による事故	1		1	1		1				1	1				
火災															
その他	11	2	3	3	1	2	11	2	6	8	2	5	14	2	9
合計	44	5	61	26	4	42	30	4	28	26	6	26	46	2	51

31. 平成25年救助活動状況

種別	区分 出動件数	左のうち、救助活動に従事したもの		
		件数	死者	負傷者
交通事故	27	4		7
水難	3			
建物等による事故	2	1		
機械による事故				
その他	14	6	2	4
合計	46	11	2	11

32. 平成25年地区別救助出動件数

種別	地区別			旭地区			飯岡地区			海上地区			干潟地区			合計		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
交通事故	15		25	3		3	4		6	5		6	27	0	40			
水難	1			2		1							3	0	1			
建物等による事故	1		1	1									2	0	1			
機械による事故													0	0	0			
その他	8		6	1	1		2		2	3	1	1	14	2	9			
合計	25	0	32	7	1	4	6	0	8	8	1	7	46	0	51			

33. 平成25年消防隊出動状況

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
合 計	回 数	39	35	38	39	46	29	43	39	41	40	34	39	462
	出動台数	44	54	66	66	72	38	66	69	76	60	51	55	717
	延 人 員	135	177	201	201	217	101	197	205	229	169	148	164	2,144
火 災	回 数	2	3	2	3	2	1	1	4	2	2	3	1	26
	出動台数	3	12	9	15	14	8	7	25	12	12	17	4	138
	延 人 員	10	44	26	51	43	19	21	74	38	33	55	15	429
火 災 (管外)	回 数	1						2						3
	出動台数	1						2						3
	延 人 員	3						6						9
救 急 支 援	回 数	27	27	32	30	41	27	33	28	22	31	28	33	359
	出動台数	27	27	32	30	41	27	33	28	22	31	28	33	359
	延 人 員	78	80	106	88	121	74	100	82	62	85	76	93	1,045
風 水 害 (非風水害含)	回 数	6								8				14
	出動台数	8								10				18
	延 人 員	25								31				56
危 険 物 排 除	回 数	1			1	2		3	4	3	3	2	2	21
	出動台数	1			1	2		3	4	3	3	2	2	21
	延 人 員	4			3	6		9	12	8	9	6	6	63
特 別 警 戒	回 数		2								2			4
	出動台数		2								2			4
	延 人 員		7								7			14
非 火 災	回 数	2	3	4	5	3	1	4	3	6	2	1	3	37
	出動台数	4	13	25	20	15	3	21	12	29	12	4	16	174
	延 人 員	15	46	69	59	47	8	61	37	90	35	11	50	528

消 防 团



【 消 防 団 】

1. 消 防 団 の 概 要	32
2. 階 級 別 消 防 団 員 数	33
3. 消 防 団 員 配 置 状 況	33
(1) 第 1 ・ 2 中 隊	33
(2) 第 3 中 隊	34
(3) 第 4 中 隊	34
(4) 第 5 中 隊	35
4. 階 級 別 消 防 団 員 勤 続 年 数 表	36
5. 階 級 別 消 防 団 員 年 齢 表	37
6. 消 防 団 及 び 消 防 団 員 に 関 す る こ と	38
(1) 年間の主な行事（平成25年度）	38
(2) 消防団の出場状況（平成25年中）	38
(3) 団員の処遇	39
ア 報酬・手当	39
イ 退職報償金(5年以上勤続消防団員に支給・一般団員の場合の額)	39
ウ 共済制度(公務災害補償)	39
7. 旭市消防団警戒区域・火災出場範囲表	40
8. 消防団配置車輛状況	41
(1) 第 1 ・ 2 中 隊	41
(2) 第 3 中 隊	42
(3) 第 4 中 隊	42
(4) 第 5 中 隊	43

1. 旭市消防団の概要

(1) 旭市消防団の経緯

平成17年7月1日、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、旭市の誕生に伴い1市3町の消防団を統合し、旭市消防団が発足し、消防団本部を消防本部内に設置する。

(2) 消防団の現況（平成26年4月1日 現在）

- ・ 団員定数 1,052名
- ・ 実団員数 902名（うち機能別団員51名）
- ・ 団構成 団本部 5中隊 16分団 47部
- ・ 車輛構成
 - ① 水槽付消防ポンプ自動車 7台
 - ② 消防ポンプ自動車 12台
 - ③ 小型ポンプ積載車 30台
 - 計 49台
 - 団本部連絡車 1台
 - 団予備車 1台

2. 階級別消防団員数

平成26年4月1日 現在

階級別 定数 実数	団	副	本	分	副	部	班	団	合
	長	団	部	分	分	長	長	員	計
	1	5	11	16	16	47	164	792	1,052
	1	5	16	16	16	47	140	610 (51)	902 (51)

* ()内は機能別消防団員数

3. 消防団員配置状況

(1) 【第1・2中隊】

平成26年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分	副	部	班	団	合
	分	分	長	長	員	計
	団	分	長	長	員	計
	長	分	長	長	員	計
	長	分	長	長	員	計
第1分団	1	1	3	8	49 (2)	62 (2)
第2分団	1	1	3	6	45 (10)	56 (10)
第3分団	1	1	3	6	39 (2)	50 (2)
第4分団	1	1	3	7	45 (5)	57 (5)
第5分団	1	1	3	6	39 (3)	50 (3)
第6分団	1	1	3	6	42 (6)	53 (6)
第7分団	1	1	2	5	24 (4)	33 (4)
合計	7	7	20	44	283 (32)	361 (32)

()内は機能別消防団員数

(2) 【 第 3 中 隊 】

平成26年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
第 2 分 団	1	1	3	8	49 (4)	62 (4)
第 3 分 団	1	1	3	11	39 (1)	55 (1)
合 計	3	3	9	28	136 (14)	179 (14)

()内は機能別消防団員数

(3) 【 第 4 中 隊 】

平成26年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
第 2 分 団	1	1	3	11	33 0	49 0
第 3 分 団	1	1	3	10	39 (3)	54 (3)
合 計	3	3	9	32	115 (4)	162 (4)

()内は機能別消防団員数

(4) 【 第 5 中 隊 】

平成26年4月1日 現在

階級別 定 数 実 数	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
第 2 分 団	1	1	3	12	31 0	48 0
第 3 分 団	1	1	3	17	60 0	82 0
合 計	3	3	9	36	127 (1)	178 (1)

()内は機能別消防団員数

4. 階級別消防団員勤続年数表

平成26年4月1日 現在

階級別 年 数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満			3	1	5	17	67	419	512
5～10未満			3	7	6	26	55	174	271
10～15未満		2	6	6	4	4	18	54	94
15～20未満	1	1	2	2	1			11	18
20～25未満		2	2					2	6
25～30未満								1	1
30年以上									
合 計	1	5	16	16	16	47	140	661	902

団員は機能別団員を含む

消 防 団 員 勤 続 年 数 比

平成26年4月1日 現在

区 分	5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上 ～ 20年未満	20年以上 ～ 25年未満	25年以上
団員数(人)	512	271	94	18	6	1
(構成比%)	56.76	30.04	10.42	2.00	0.67	0.11

5. 階級別消防団員年齢表

平成26年4月1日 現在

階級別 年 齢	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳未満									
18～20未満								3	3
20～25未満							4	38	42
25～30未満						4	25	184	213
30～35未満				1	2	12	53	173	241
35～40未満				4	8	20	47	208	287
40～45未満				15	3	10	8	40	76
45～50未満			2	10	2	1	1	13	29
50～55未満		1		1	1		1	3	7
55～60未満		2		1					3
60以上	1								1
合 計	1	3	2	32	16	47	139	662	902

団員は機能別団員を含む

消 防 団 員 年 齢 比

平成26年4月1日 現在

区分	20歳未満	20歳以上 ～ 30歳未満	30歳以上 ～ 40歳未満	40歳以上 ～ 50歳未満	50歳以上 ～ 60歳未満	60歳以上
団員数(人)	3	255	528	105	10	1
(構成比%)	0.33	28.27	58.54	11.64	1.11	0.11

6. 消防団及び消防団員に関すること

(1) 年間の主な行事 (平成25年度)

4月	・辞令交付式、規律訓練	10月	・市民体育祭参加、警護
5月	・消防団全体訓練	11月	・機材点検 ・各産業まつり参加 ・部長・新入団員研修 ・消防団120年、自治体消防65周年記念大会(東京ドーム)
6月	・旭市消防操法大会 ・海匠支部操法大会(匠瑳市)	12月	・歳末規律訓練 ・歳末警戒激励会
7月	・いいおかYOU遊フェスティバル 会場警備	1月	・旭市消防出初式 ・文化財火災防ぎょ訓練 (矢刺神社)
8月	・七夕祭り警備	2月	・県消防広域応援隊合同訓練視察
9月	・旭市総合防災訓練 (海上コミュニティー) ・九都県市合同防災訓練視察 (銚子市)	3月	・津波避難訓練 ・千葉県消防大会 ・団広報紙「団報あさひ」の発行 ・消防庫引渡式 第4中隊3-2 第5中隊2-2

(2) 消防団の出場状況(平成25年中)

区 分	回 数	述べ車両	延べ人員	備 考
火 災	24	179	1,119	建物 15 林野 1 車両 1 その他 7
風水害等	0			
演習・操法 大会訓練	77	3,005	16,763	規律訓練、全体訓練、操法訓練 市・海匠操法大会、分団中継訓練 総合防災訓練、津波避難訓練 春季消防総合訓練、出初式 ポンプ点検、定例試運転
特別警戒	13	122	1,634	12月29日・30日歳末警戒市内全地区 海岸パトロール 市催し物(YOU・遊、七夕、市民体育祭等)
合計	114	3,306	19,516	

(3) 団員の処遇

ア 報酬・手当

平成26年4月1日 現在

種 類	金 額	種 類	金 額
報 酬 (年 間)	団 長	手 当	火災出場
	副 団 長		6,000円／1隊1回
	分 団 長		
	副分 団長		
	部 長		訓練出場
	班 長		1,000円／1人1回
	団 員		
	110,000円		
	72,000円		
	58,000円		
	45,000円		
	35,000円		
	20,000円		
	17,000円		

イ 退職報償金(5年以上勤続消防団員に支給・一般団員の場合の額)

5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30年以上
200千円	264千円	334千円	409千円	519千円	689千円

ウ 共済制度(公務災害補償)

- ・ 公務中 全額支給(休業補償等あり)
- ・ 公務外 15日以上入院の場合支給

7. 旭市消防団警戒区域・火災出場範囲表

【加算式】平成26年4月1日 施行

所属	管轄区域	車両種別	特命出動	第1出場	第2出場	第3出場			
第一中隊 (旭地区)	第1分団	1部 新田、東町、新町、仲町、田町、塚前、街道、瀬道	タンク車	原則出場しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出ることは可。	旭第1分団 旭2-1 3-1 旭4-1 4-2	第1出場に加え 旭2-2 2-3 3-2 3-3 3-4 4-3 旭7-1 7-2 海1-3 2-1 2-2 2-3	第2出場に加え 海1-1 飯3-1 干2-1		
		2部 網戸	ポンプ車						
		3部 十日市場岡	ポンプ車						
	第2分団	1部 椎名内浜、西足洗浜	タンク車		旭第2分団 旭1-1 旭3-1 3-2 3-3	旭1-2 1-3 4-1 4-2 4-3 旭6-1 6-2 海2-1 飯3-1 3-2 3-3	海1-1 1-3 2-2		
		2部 足川浜、十日市場浜、足川岡、椎名内岡	小型ポンプ積載車						
		3部 野中、東足洗岡、西足洗岡	小型ポンプ積載車						
	第3分団	1部 中谷里岡、仁玉岡	タンク車		旭第3分団 旭1-1 2-1 旭4-1 5-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 4-2 4-3 旭 5-2 5-3	海2-1 2-2 飯3-1 3-2 3-3		
		2部 川向浜、仁玉浜、中谷里浜、神宮寺浜、駒込浜、井戸野浜	水槽付 小型ポンプ積載車						
		3部 神宮寺岡	小型ポンプ積載車						
第二中隊 (旭地区)	第4分団	1部 干潟、干潟南、神西、川口二区・八軒町	タンク車	原則出場しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出ることは可。	旭第4分団 旭1-1 3-1 旭5-1 6-1	旭1-2 1-3 3-2 3-3 5-2 5-3 旭6-2 6-3 7-1 7-2 干2-1	海2-1 2-2 2-3 干3-1 3-2 3-3		
		2部 宿天神、新川、馬場若衆内	ポンプ車						
		3部 袋	小型ポンプ積載車						
	第5分団	1部 井戸野(上・中・下)	ポンプ車		旭第5分団 旭1-1 2-1 旭3-1 4-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 3-2 3-3 旭4-2 4-3	海2-1 干2-1 干3-1 3-2 3-3		
		2部 川口	小型ポンプ積載車						
		3部 泉川、駒込岡、大塚原	小型ポンプ積載車						
	第6分団	1部 新町(上町・仲町・下町)	タンク車		旭第6分団 旭1-1 4-1 旭7-1 干2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 7-2 海2-1 干2-3 3-3	干2-2		
		2部 鎌数溜下、鎌数宮本、鎌数元締	小型ポンプ積載車						
		3部 鎌数小川、鎌数谷町場	小型ポンプ積載車						
	第7分団	1部 東琴田、中琴田、江ヶ崎、江ヶ崎西町	ポンプ車		旭第7分団 旭1-1 4-1 旭6-1 海2-3 干2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 6-2 6-3 海2-1 2-2	干2-3		
		2部 西琴田	小型ポンプ積載車						
	第三中隊 (海上地区)	第1分団	1部 見広、大間手		ポンプ車	原則出場しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出ることは可。	海第1分団 海2-1 3-1 飯2-1 3-1	旭7-1 7-2 飯2-3 3-2	旭1-1 1-2 飯2-2 3-3
			2部 倉橋 (横根飛地)		小型ポンプ積載車				
			3部 蛇園		ポンプ車				
第2分団		1部 広原(東・仲・南・西)	タンク車	海第2分団 海1-1 3-1 旭1-2 7-1	旭1-1 1-3 4-2 4-3 旭6-1 7-2 飯3-1		飯2-3 3-2 3-3 干1-1 1-2 1-3		
		2部 後草	ポンプ車						
		3部 高生、琴田、沖	小型ポンプ積載車						
第3分団		1部 清滝	ポンプ車	海第3分団 海1-1 1-3 海2-1 2-2	旭6-1 7-1 7-2 飯3-1 3-2 干1-1		飯3-3 干1-2 1-3 2-1		
		2部 幾世	小型ポンプ積載車						
		3部 岩井、松ヶ谷	小型ポンプ積載車						
第四中隊 (飯岡地区)	第1分団	1部 上永井、南町	小型ポンプ積載車	原則出場しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出ることは可。	飯第1分団 飯2-2 2-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 3-1 海1-3 2-1	旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3		
		2部 本町、横根東浜、下永井(永井岡・東町・西上町・西下町)	ポンプ車						
		3部 川端町、小網町、広網町、大崎町、並木町、飯岡岡	ポンプ車						
	第2分団	1部 塙東町、塙西町、塙新町	小型ポンプ積載車		飯第2分団 飯1-2 1-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 旭3-1 海1-2(塙地区) 1-3 2-1	旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3		
		2部 八軒町、行内、平松岡、平松浜	小型ポンプ積載車						
		3部 萩園、横根西浜、横根岡、双葉町	ポンプ車						
	第3分団	1部 曾根、目那	タンク車		飯第3分団 飯1-2 1-3 飯2-2 2-3	旭1-2 2-1 2-2 2-3 海1-3 2-1	旭1-1 1-3 海1-1 1-2		
		2部 犬林、後、上宿、下宿	小型ポンプ積載車						
		3部 三川浜、泉宮飯岡岡地	小型ポンプ積載車						
第五中隊 (干潟地区)	第1分団	1部 東2.3区 萬歳(御用地長岡丁場・太田丁場)	小型ポンプ積載車	原則出場しなくともよい。但し、発災地の分団が現場に出ることは可。	干第1分団 干第2分団 旭6-1 7-1	旭7-2 海2-2 3-1 3-2	旭6-2 6-3 海2-1 2-3 3-3		
		2部 東1.7区 萬歳(水門)、桜井(大久保飛地)	小型ポンプ積載車						
		3部 東4.5区 萬歳(柳辺)、関戸 (1班[旧1-3])	小型ポンプ積載車						
		東6区 溝原(さくら台) (2班[旧1-4])	小型ポンプ積載車						
	第2分団	1部 中3.4.5.6区 東入野、西入野、米込(三番割・二番割)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干1-3 3-2 干3-3 旭6-1 7-1	旭6-2 6-3 7-2 海2-2	旭4-1 4-2 4-3 海2-1 2-3		
		2部 中1.2.10.11区 長部、清和甲、松沢開墾	小型ポンプ積載車						
		3部 中7.8.9.12.13区 米込、南堀之内、清和乙、泉宮住宅、白寿園	小型ポンプ積載車						
	第3分団	1部 西1区 錦木(宿内)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干第3分団 旭4-1 6-1	旭4-2 4-3 6-2 6-3	旭5-1 5-2 5-3 旭7-1 7-2		
		西5.6区 錦木(内宿・塙台)	小型ポンプ積載車						
		西7.8区 錦木(湯木・宿)	小型ポンプ積載車						
		2部 西3.4.12区 錦木(愛宕・高根・河岸湖) (1班)	小型ポンプ積載車						
		西2.9.10.11区 萬力(萬力下・百石・萬力上)(2班[旧4-3])	小型ポンプ積載車						
		3部 西13.14.15区 萬力(新発田・六軒屋下・上)	小型ポンプ積載車						
	西16.17.18区 萬力(三軒屋東・西・秋田)	小型ポンプ積載車							

※管外応援出場は境界より約500mまでとし、管内の隣接地区への出場は各部の判断で出場すること。

※通信が共同指令センターに移行したことにより、出場指令通告が変更になる。(地区の土地状況により、当初より第3出場もありえる。)

8. 消防団の配置車両状況

(1) 第 1 ・ 2 中 隊 (旭)

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	日 野	タ ン ク 車	平成 19 年	日 本 造 機	平成 19 年	A2
	2	い す ゞ	ポ ン プ 車	平成 16 年	日 本 造 機	平成 16 年	A2
	3	い す ゞ	ポ ン プ 車	平成 9 年	野 口 ポ ン プ	平成 9 年	A2
2	1	日 野	タ ン ク 車	平成 11 年	野 口 ポ ン プ	平成 11 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 21 年	富 士 ロ ビ ン	平成 21 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 21 年	富 士 ロ ビ ン	平成 21 年	B2
3	1	日 野	タ ン ク 車	平成 16 年	日 本 造 機	平成 16 年	A2
	2	日 野	水槽付小型ポンプ積載車	平成 21 年	ト ー ハ ツ	平成 21 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	富 士 ロ ビ ン	平成 19 年	B2
4	1	日 野	タ ン ク 車	平成 21 年	モ リ タ	平成 21 年	A2
	2	い す ゞ	ポ ン プ 車	平成 9 年	野 口 ポ ン プ	平成 9 年	A2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 22 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
5	1	い す ゞ	ポ ン プ 車	平成 17 年	GMいちほら	平成 17 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 22 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 11 年	富 士 ロ ビ ン	平成 9 年	B2
6	1	日 野	タ ン ク 車	平成 17 年	GMいちほら	平成 17 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 11 年	富 士 ロ ビ ン	平成 8 年	B2
	3	い す ゞ	小型ポンプ積載車	平成 21 年	ト ー ハ ツ	平成 21 年	B2
7	1	日 野	ポ ン プ 車	平成 18 年	モ リ タ	平成 18 年	A2
	2	ト ヨ タ	小型ポンプ積載車	平成 11 年	富 士 ロ ビ ン	平成 14 年	B2

(2) 第 3 中 隊 (海 上)

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニッサン	ポ ン プ 車	平成10年	GMいちほら	平成10年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成21年	GMいちほら	平成21年	A2
2	1	日 野	タ ン ク 車	平成20年	GMいちほら	平成20年	A2
	2	ニッサン	ポ ン プ 車	平成12年	GMいちほら	平成12年	A2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
3	1	ニッサン	ポ ン プ 車	平成11年	野口ポンプ	平成11年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成17年	B3

(3) 第 4 中 隊 (飯 岡)

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	2	ニッサン	ポ ン プ 車	平成14年	GMいちほら	平成14年	A2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成23年	GMいちほら	平成23年	A2
2	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成23年	GMいちほら	平成23年	A2
3	1	日 野	タ ン ク 車	平成15年	GMいちほら	平成15年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成23年	ト ー ハ ッ	平成23年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2

(4) 第 5 中 隊 (干 潟)

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3-1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3-2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
2	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
3	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	2-1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3
	2-2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3

消 防 年 報

(平成25年版)

編集・発行

旭市消防本部 総務課

〒289-2511

旭市イの2953番地1

TEL 0479 (63) 0119

メールアドレス

asahi119-somu@city.asahi.lg.jp

ホームページ (旭市ホームページ内)

<http://www.city.asahi.lg.jp/section/shoubou/index.html>



旭市イメージアップキャラクター あさピー